

ブンプロ、募集中！ 静岡県文化プログラム



【オリンピック・パラリンピック 文化プログラム】

オリンピック・パラリンピックは、スポーツだけの祭典ではありません。オリンピック憲章では、「オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するもの」とうたい、開催都市が「文化プログラム」を開催するように定めています。2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは、開催都市ロンドンだけでなく、イギリス全土で約11万7千件の文化プログラムが行われ、大きな成果を上げたといわれています。2020年の東京大会においても、日本全国で「文化プログラム」の実施が予定されており、静岡県では、様々な文化資源を生かしたプログラムが県内各地で展開されるよう地域の取組を促進していきたいと考えています。

【プログラムのねらい】

静岡県では、県内の文化資源の掘り起こしや担い手を育成し、将来自立した文化活動を促すことを目的に、2019年度は、2020年に向けた事業計画を持つ取組を対象とし、A：祝祭プログラム、B：文化の力活用プログラムという二つの区分で、静岡県でのプログラム展開に取り組んでいただきます。

オリンピック・パラリンピックという国内外からの注目を広く集める機会を生かし、これまでは実現が難しかったプログラムに、長期的な視野をもって取り組む機会としていただきたいと思います。また、実施に際しては、プログラム・コーディネーター、アシスタント・コーディネーターが状況に応じた支援を行います。プログラム・コーディネーター等とプログラムを進めていくことで、質の高い効果的なプログラムの実施を実現するとともに、オリンピック・パラリンピック終了後においても、プログラムでの経験や成果を継続して活用していくことを期待しています。

2019年4月

静岡県文化プログラム推進委員会

2019 年度 静岡県文化プログラム 「地域密着プログラム」募集要項

1 対象となる内容

A 祝祭プログラム

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた盛り上げを図り、本県の文化力の発信に寄与するプログラムで、以下の要件を満たすもの。

- ・祝祭性のある取組であること
- ・先進性のある取組であること
- ・国内外から訪れる人々をターゲットとした取組であること
- ・本県で実施する意義を持ち、地域への波及効果が期待される取組であること

上記要件を満たすプログラムに加え、以下に該当するプログラムについても募集する。

- ①東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技の観客等をターゲットとしたプログラム
- ②世界お茶まつり 2019「秋の祭典」と同時開催するプログラム
(2019 年 11 月 7 日 (木) から 10 日 (日) までのいずれかの日にグランシップ中ホールを会場として実施するプログラム (会場使用料は不要))

B 文化の力活用プログラム

文化の力を活用し、社会の幅広い分野の多様な担い手が行う地域資源等を生かしたプログラムで、以下の要件を満たすもの。

- ・先進性のある取組であること
- ・文化芸術と、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの様々な分野と協働する取組であること
- ・地域資源や社会課題についての新たな見方を提示するなど、地域の魅力の向上や、課題に対する創造的な対応を目指す取組であること
- ・協働する分野等への波及効果が期待される取組であること

※対象とならない内容

- ・宗教的又は政治的な宣伝・主張を目的とするもの
- ・慈善事業への寄付を主な目的とするもの
- ・サークル、同好会等が行う習い事や稽古事等の講習会、発表会等
- ・コンクール、コンテストを主な目的とするもの
- ・既に企画制作されたパッケージを購入した公演や営利を目的とする公演
- ・展示物や制作物等の販売活動を主な目的とするもの

2 実施期間 2019年6月中旬～2020年3月

3 応募条件

- ・「A 祝祭プログラム」、「B 文化の力活用プログラム」とともに、中長期のビジョンを持つプログラムを対象とします。
- ・2019年度に採択された団体であっても、2020年度の採択の可否については、改めて審査いたします。

4 実施場所

静岡県内 ※静岡県内が主であれば、県外地域（海外を含む）との連携実施も可能です。

5 応募資格

静岡県内に拠点を置く民間団体・グループ（法人格の有無は問いません）

※市町は応募することができません。但し、民間団体・グループを主体とする実行委員会に参加することは可能です。

※次に掲げる法人その他の団体は、応募することができません。

- ・暴力団（静岡県暴力団排除条例（以下、「条例」という。）第2条第1号に該当する団体）
- ・法人その他の団体、グループを構成する者に暴力団員（条例第2条第2号暴力団員等（条例第2条第3号）に該当する者があるもの

6 負担金による支援

プログラムに係る事業費の一部を推進委員会が負担します。

※ 負担金の対象となる経費については、別紙1を御覧ください。

区 分	内 容
① 負担金額	A 祝祭プログラム：上限5,000千円 B 文化の力活用プログラム：上限2,000千円
②負担金額の割合	(1) プログラムの実施者が、非営利の民間団体・グループの場合※ ※市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等は該当しません。 ⇒対象経費の4分の3以内
	(2) プログラムの実施者が、(1)以外の団体・グループの場合※ ※企業、市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等はこちらに該当します。 ⇒対象経費の2分の1以内

7 選定予定件数 計 20 件以内

8 選定スケジュール

(1) 募集締切

・ 2019 年 5 月 9 日（木）（※締切日必着）

※郵便、宅配便による応募のみ有効です。直接持込は受け付けません。

(2) 一次選考（書類審査）

・ 2019 年 5 月中旬

・ 選考結果は、5 月 24 日（金）頃に通知します。

(3) 二次選考（一次選考通過者によるプレゼンテーションを予定）

・ 2019 年 6 月 6 日（木）

具体的な日時につきましては、改めて一次選考通過者に連絡いたします。

・ 選考結果は、6 月 10 日（月）頃に通知します。

(4) 協定の締結

・ 二次選考により選定されたプログラムの提案団体・グループには、プログラム・コーディネーター、アシスタント・コーディネーターとの協議に基づいた内容について、推進委員会との間で協定を締結の上、プログラムを実施していただきます。

9 選考の視点

(1) 共通項目

- ・ 事業目的と静岡県文化プログラム「基本方針」との整合性
- ・ 企画内容の妥当性、実現可能性
- ・ 収支予算の妥当性、資金調達の工夫
- ・ 先進性、独創性
- ・ 県内外への訴求力
- ・ 地域に開かれた取組、地域への波及効果
- ・ 他地域のモデルとなる可能性
- ・ 継続性・発展性（将来ビジョン）

(2) 祝祭プログラム

- ・ オリンピック・パラリンピックを文化で盛り上げるための集客の工夫
- ・ 国内外から訪れる人々をターゲットとした工夫
- ・ 本県で実施する意義

(3) 文化の力活用プログラム

- ・ 地域資源の活用や社会課題への対応を目指す取組の具体性
- ・ 多様な関係者との連携
- ・ 協働する分野等への波及効果

10 プログラム・コーディネーター、アシスタント・コーディネーターによる支援

推進委員会に所属するプログラム・コーディネーター、アシスタント・コーディネーターによる支援を受けながら、プログラムを実施していただきます。以下のような支援を予定しています。

- ・事業の内容、推進方法等に対する助言
- ・事業の推進に必要なネットワーク形成支援
- ・アーティストとの仲介・調整支援
- ・地域との調整支援
- ・他のプログラムとの連携支援

11 応募方法

- ・封筒に赤字で「文化プログラム応募書類在中」と明記し、郵便、宅配便により応募書類（様式1～4）※を提出してください。事務局への持込は受け付けません。

※ウェブサイト (<https://www.shizuoka-ac.org> または、<https://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-110/bunpro>) からダウンロード できます。

- ・参考資料の添付は可能ですが、A4サイズで5ページ以内を目安に、片面印刷でお願いします。なお、コピー等が困難な添付資料（パンフレット等）がある場合は、7部提出してください。

- ・提出先：〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1
グランシップ1F
静岡県文化プログラム推進委員会事務局

12 採択された場合の注意点

(1) 負担金の返金・減額

- ・負担金の交付後でも、経費の虚偽申告や実績報告内容等に事実と相違している点のあることが判明した場合、また本要項や法令に違反した場合は、採択決定を取消し、負担金を返還していただくことがあります。

(2) 採択結果・事業内容の公表

- ・採択事業については、団体の名称、事業の概要、負担金額等の情報を、静岡県文化プログラムウェブサイト等の広報媒体で公表します。

(3) 静岡県文化プログラムへの広報協力

- ・チラシ、ポスター、プログラム等の印刷物やウェブサイトに、シンボルマーク等を表示していただきます。

(4) 事業経過報告及び実績報告

- ・事業の進行状況、実績等について適宜報告をしていただきます（公開を伴

う場合があります)。

- ・事業終了後指定する期日までに、指定の様式による実績報告書及び会計書類の提出をしていただきます。

(5) 会計書類等の収集・保管

ア 支払関係書類の収集・保管

- ・実績報告に伴う会計書類として、負担金対象経費の支払関係書類〔〈領収書〉又は〈請求書と金融機関振込明細票のセット〉〕の写しを提出していただきます。申請期間中に事業の準備が進行する場合は、次の点に留意し予め支払関係書類を収集してください。

(ア) 支払関係書類に記載の名称は、団体名と一致させること。(略称は不可)

(イ) 発行日、宛名、発行者の名称・住所・押印、明細が記載されていること。

- ※支払関係書類に不備があった場合、その分の経費が認められず、負担金額が減額となる場合があります。

イ 負担金交付に関する書類の保管〔7年間〕

- ・採択団体は、負担金交付に関する一連の通知、関係書類、関係する帳簿及び支払関係書類(領収書、請求書、金融機関利用明細書等)を他の経費と区分して整理し、負担金の交付を受けた年度の終了後7年間保管してください。

(6) 安全配慮

- ・助成事業を実施するにあたっては、安全等に充分配慮してください。事故等が発生した場合は、速やかに状況を報告してください。

(7) 事業を中止する場合

- ・助成事業を中止する場合は、速やかに状況を報告してください。

13 お問い合わせ

静岡県文化プログラム推進委員会事務局

TEL 054-204-0310 (9:00~17:00 土日祝を除く)

e-mail : info@shizuoka-ac.org

静岡県文化プログラム

検索



(別紙1)

○負担金対象経費

費目	内容
企画費	企画料、調査費等
出演費、謝金	出演料、アーティストフィー、講師謝金、通訳謝金、日当等
制作費	作品等制作料(脚本、作曲、美術作品、映像編集・制作、デザイン、ロケーション等)、作品等実演費(演出、舞台監督、音響、照明、設置、試作、オペレーションスタッフ等)、賃借料(美術作品ー保険料を含むー、機材等)等
会場費	会場使用料(付帯設備費を含む)、会場設営費、会場撤去費、(現地制作に係る)稽古場・作業工房等の使用料等
運搬費	道具運搬費、楽器運搬費、作品運搬費等
賃金・社会保険料	事務整理賃金、会場整理等賃金、作業員賃金、労災保険料等 ※臨時に雇用する場合に限りです。
旅費	国内交通費、国外交通費、宿泊費等
通信費	郵送料等
広告・印刷費	ウェブサイト制作費、ポスター・パンフレット等デザイン料、印刷費等
消耗品費	消耗品費
委託費	業務委託費

※この表に準じて必要な費目を追加することは可能ですが、負担金対象の可否について、事前に事務局への確認が必要です。

○負担金対象とならない経費

○団体等の職員給与等人件費 ○団体等の維持管理費(事務所賃料、光熱水費、生活雑貨等) ○航空・列車・船舶運賃の特別料金(ファーストクラス、ビジネスクラス、グリーン料金等) ○ビザ取得費 ○印紙代 ○振込手数料 ○手土産代 ○飲食に係る経費(取材・打ち合わせ時の飲食代、交際費、接待費、レセプション・パーティー費、打ち上げ費、ケータリング・弁当類) ○備品(10万円以上) 購入費 ○施設整備費 ○自ら設置又は管理する会場等を使用する場合の使用料 ○海外傷害保険等の各種保険料(イベント保険、美術品借用に伴うものは除く) ○予備費・雑費等使途が曖昧な経費

静岡県文化プログラム—基本方針—

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会をスポーツ競技とともに構成する文化プログラムについて、私たちはこの方針に基づいて静岡県内において推進し、感性豊かな地域社会を実現するための「ふじのくに芸術回廊」の実現を図ります。

テーマ：静岡県で展開される文化プログラム全体に共通する考え方を表しています。

地域とアート*が共鳴する

※芸術文化だけではなく、生活文化、伝統芸能等を含んで幅広く捉えたもの。

目的：文化プログラムの推進を通じて、以下の実現を目指します。

- ・ 県内の潜在的な文化資源、地域資源、人的資源などを目に見えるかたちで示します
- ・ 他者との違いに価値を見出し認め合う環境を育みます
- ・ すべての人々が持つ創造性に基づく多様な生き方の可能性を提起します
- ・ 文化・芸術を、地域的・社会的課題への対応に生かします

取組のポイント：以下の点を重視して文化プログラムを推進します。

- ・ 多様性：地域、社会、時代、分野、国籍等における多様性を生かした展開
- ・ 多極性：大規模・一極集中的なプログラムではない、県内各地の潜在的な文化資源を生かした多極的な展開
- ・ 持続性：一過性のイベントではない、2020年以降を視野に入れた持続的な展開

取組目標：以下の目標に向けてプログラムを推進します。

1 人材の活用・育成に関すること

- ・ 実践的専門家による文化・芸術活動支援
- ・ 実践的専門家による文化・芸術活動を活用した社会的課題対応への支援
- ・ 実践的専門家やプログラムの担い手の育成

2 仕組みに関すること

- ・ 文化・芸術活動支援、文化・芸術活動の社会的課題への対応の基盤となるネットワーク形成
- ・ 文化・芸術の振興と地域協働のための新たな専門組織（例：地域版アーツカウンシル）の設置・運営

3 人材と仕組みの応用に関すること

- ・ 県内各地における文化・芸術活動を応用した地域・社会課題解決への取組
- ・ 伝統的文化、伝統的産業の掘り起こし、継承と今日的活用
- ・ 文化・芸術とスポーツの連携による新たな取組の提案
- ・ 交流人口の拡大による、人口減少等の課題への対応

整理番号	
------	--

(様式 1-A)

静岡県文化プログラム「地域密着プログラム」
2019 年度 「A 祝祭プログラム」応募企画書

静岡県文化プログラム推進委員会委員長

以下のとおり応募いたします。

1 応募団体

ふりがな			
団体名			
ふりがな			
代表者氏名	㊟		
団体等所在地	〒		
団体等連絡先	電話	FAX	
	E-Mail		

2 事業名、負担金希望額等

事業の名称	
負担金希望額	円

3 企画内容

1 事業の目的
2 事業の企画に至った経緯、背景、これまでの取組

3 事業内容			

文化・芸術の分野 該当するものに 「○」を付けてくだ さい。複数選択も可 能ですがメインと なるものを「◎」に してください。	音 楽	デザイン
	美 術	メディアアート
	演 劇	文 芸
	舞 踊	伝統芸能
	映 像	生活文化
	建 築	その他 ()

4 事業計画と達成目標		※「達成目標」は数値でなくても構いません。	
時 期	事業計画	達成目標	
2019年度			
2020年度			
2021年度			
2022年度以降 (ビジョン)			

5 2019年度の事業規模			
実施回数 又は日数		参加者・観客数 (見込み)	

6 2019年度のスケジュール	
時期	具体的実施内容
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

7 国内外の人々に訪れてもらうための工夫（企画・広報等）、訪れた人々の受け入れの工夫	
8 事業の実施により期待される効果（地域への波及効果等）	
9 実施体制 ※適宜、役割等を追加	
役 割	氏 名
企画	
広報・PR	
事務局（総務・経理）	
10 その他、特にアピールする点（祝祭性、先進性、静岡県で実施する意義 等）	
11 プログラム・コーディネーターに期待する支援の内容	
<input type="checkbox"/> 事業の内容、推進方法等に対する助言 <input type="checkbox"/> 事業の推進に必要なネットワーク形成支援 <input type="checkbox"/> アーティストとの仲介・調整支援 <input type="checkbox"/> 地域との調整支援 <input type="checkbox"/> 他のプログラムとの連携支援 <input type="checkbox"/> その他（具体的に：	

※必要に応じ、スペースを拡大して記入してください。

(様式 1 - B)

静岡県文化プログラム「地域密着プログラム」
2019年度 「B 文化の力活用プログラム」応募企画書

静岡県文化プログラム推進委員会委員長

以下のとおり応募いたします。

1 応募団体

ふりがな	
団体名	
ふりがな	
代表者氏名	④
団体等所在地	〒
団体等連絡先	電話
	E-Mail
	FAX

2 事業名、負担金希望額等

事業の名称	
負担金希望額	円

3 企画内容

1 事業の目的
2 事業の企画に至った経緯、背景、問題意識等

3 事業内容			
<p>「文化・芸術分野」及び「協働分野」で、それぞれに該当するものに「○」を付けてください。</p> <p>複数の選択も可能ですが、その場合はメインとなるものを「◎」にしてください（各分野1つのみ）。</p>	文化・芸術分野		協働分野
	音楽		観光
	美術		ものづくり
	演劇		産業
	舞踊		福祉
	映像		医療
	建築		教育
	デザイン		子育て
	メディアアート		ソーシャル・インクルージョン
	文芸		地域振興、まちづくり
	伝統芸能		防災、災害復興
	生活文化		スポーツ
その他（ ）		その他（ ）	
4 事業計画と達成目標		※「達成目標」は数値でなくても構いません。	
時期	事業計画	達成目標	
2019年度			
2020年度			
2021年度			
2022年度以降 (ビジョン)			
5 2019年度の事業規模			
実施回数 又は日数		参加者・観客数 (見込み)	
6 2019年度のスケジュール			
時期	具体的実施内容		
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			

11月	
12月	
1月	
2月	
3月	
7 対象とする地域資源又は社会課題と、事業の実施により期待される効果	
8 事業の成果を広げるための工夫（多様な関係者との連携、社会の共感を高める取組など）	
9 実施体制 ※適宜、役割等を追加	
役割	氏名
企画	
広報・PR	
事務局（総務・経理）	
10 その他、特にアピールする点（先進性、独創性 等）	
11 プログラム・コーディネーターに期待する支援の内容	
<input type="checkbox"/> 事業の内容、推進方法等に対する助言 <input type="checkbox"/> 事業の推進に必要なネットワーク形成支援 <input type="checkbox"/> アーティストとの仲介・調整支援 <input type="checkbox"/> 地域との調整支援 <input type="checkbox"/> 他のプログラムとの連携支援 <input type="checkbox"/> その他（具体的に：	

※必要に応じ、スペースを拡大して記入してください。

(様式2)

団体等のプロフィール

区分	内容		
名 称			
設立時期			
活動等の分野・目的			
構成員、役員等 ※会則、定款等がある場合は添付してください。	役職名	氏 名	団体等への加入条件、人数等
主な活動実績等			

※必要に応じ、スペースを拡大して記入してください。

※参考資料の添付は可能です。

(様式3)

プログラム推進の核となる方のプロフィール

区分	内容
ふりがな	
氏名	
現職	
専門分野	
主な活動実績等 (具体的に担った 役割について記載 してください)	

プログラム推進の核となる方のプロフィール

区分	内容
ふりがな	
氏名	
現職	
専門分野	
主な活動実績等 (具体的に担った 役割について記載 してください)	

※必要に応じ、スペースを拡大して記入してください(人数を増やすことも可能です)。

文化・芸術分野の核となる方のプロフィール

区分	内容
ふりがな	
氏名	
現職	
専門分野	
主な活動実績等 (具体的に担った 役割について記載 してください)	

文化・芸術分野の核となる方のプロフィール

区分	内容
ふりがな	
氏名	
現職	
専門分野	
主な活動実績等 (具体的に担った 役割について記載 してください)	

※必要に応じ、スペースを拡大して記入してください（人数を増やすことも可能です）。

(様式4)
【収支予算書】

(収入の部) (単位:円)

区 分	予算額	備 考
応募者自己負担額		
共催者等負担額		
補助金・助成金		
寄附金・協賛金		
事業収入		
その他		
小 計(A)	0	
推進委員会負担額(B)		
合 計(C) = (A) + (B)	0	

(支出の部) (単位:円)

	費目	積算内訳	予算額
推進委員会負担金対象経費	企画費		
	出演費・謝金		
	制作費		
	会場費		
	運搬費		
	賃金・社会保険料		
	旅 費		
	通信費		
	広告・印刷費		
	消耗品費		
	委託費		
推進委員会負担金対象経費計(D)			0
対象外経費			
	小 計(E)		0
合 計(F) = (D) + (E)			0